

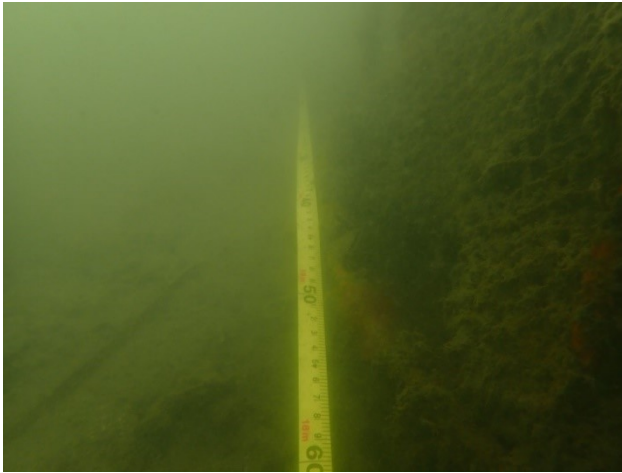
令和 5 年度 的矢湾アマモモニタリング結果
調査日時：令和 6 年 1 月 23 日（火）

調査地点：坂崎

方 法：マット方式（令和元年度設置）

アマモ生育状況：確認できず

港内地点



ここでの泥の堆積はやや進んでいた。マット上で平均 8 cm 程度、南側端から 12 メートル地点までの多いところでは 10 センチほどの堆積であった。この泥の状態は 16 メートル地点まで続き 17 メートル地点からはこれまでと同様にヨシや流木、枯れ葉などの堆積が見られた。

港外地点



港外西側のマット内外のアマモの繁茂はこれまでと同様認められない。また、この地点のマット内外では、これまで同様多量のヨシ・竹・流木などの堆積物により、設置したマット上面の全域が沈殿物で覆われている。なお、ランダムに投入したアマモ団子投入地点周辺においてもアマモは確認できなかった。

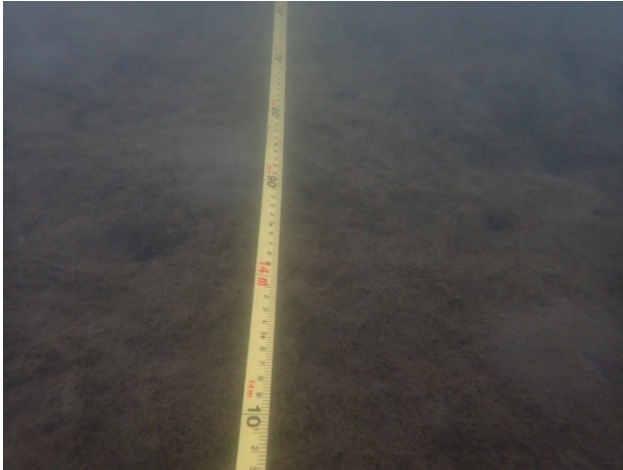
周辺における海藻は今回は認められなかった。（前回令和 5 年 5 月にアオサ目やイギス目、ツルモ・ムチモなどが認められていた。）

調査地点：飯浜オガエ地区

方 法：マット方式（平成 30 年度設置）

アマモ生育状況：確認できず

粒度の細かい泥の堆積が多い様子



泥のマット上における堆積はこれまでに徐々にその体積が増してきている。

マットへの堆積は全体に見て 10 センチ近くにまで達しており、平均して 7～8 cm の堆積である。これまでに北側の海底全体的に枯れ葉や枝状の堆積物が多く認められたが、今回はそれらが泥中に沈み、前回よりも更に少なくなったように見えた。

ヤシマット周辺のアマモ団子投入地点に関しても、アマモは確認できない。

調査地点：飯浜オガエ地区

方 法：マット方式（平成 29 年度設置）

アマモ生育状況：確認できず



マット上には泥が 5 センチ以上堆積している。ここでの枯れ葉などの沈殿はこれまで通り少ない。海底の泥は凹凸のある状態で、他の海藻などは認められない。